

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんじゃぼんしんふおにつくういんず 一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ	団体ウェブサイトURL	https://sienawind.com/
代表者職・氏名	代表理事 東佳樹		
制作団体所在地	〒 160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7ルネ御苑プラザ420	最寄り駅(バス停)	新宿御苑前
電話番号	03 3357 4870		
ふりがな 公演団体名	しえなういんどおーけすとら シエナ・ウインド・オーケストラ	団体ウェブサイトURL	https://sienawind.com/
代表者職・氏名	事務局長 高澤芳郎		
公演団体所在地	〒 同上	最寄り駅(バス停)	
制作団体 設立年月	2004年11月		
制作団体組織	役職員 代表理事:東佳樹 理事:黒岩真美、貝沼拓実 監事:熊代祐子	団体構成員及び加入条件等 代表理事1名、理事2名、楽団員31名、事務局員4名。楽団員は実技オーディションにより審査し、合格者は規定の試用期間を経て入団を決定する。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	高澤芳郎
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	畔柳陽子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	siena-office@sienawind.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>平成2年に、オーディションを経て集まった優秀な若手音楽家たちによってシエナ・ウインド・オーケストラを結成。平成16年に有限責任中間法人ジャパン・シンフォニック・ウインズとして法人登記。平成21年に公益法人制度改革により会社法人格を一般社団法人に変更。 平成22年文京区および公益財団法人文京アカデミー、平成23年学校法人尚美学園、平成28年国立大学法人上越教育大学および上越文化会館、平成29年学校法人同朋学園名古屋音楽大学、平成30年静岡県富士市および公益財団法人富士市文化振興財団、令和5年12月公益財団法人びわ湖芸術文化財団とそれぞれ事業協定を締結、現在、文京シビックホールをフランチャイズとしシエナ・ウインド・オーケストラを運営。自主公演や依頼公演を年間約100回実施するほか、各協定団体と連携し、地域に密着した活動やエデュケーショナルな取り組みを展開している。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>【令和4年度】 文化庁学校巡回公演(7校)、足利市立小学校(22校)、足利市立中学校(10校)、文京区立第三中学校、文京区立音羽中学校、台東区立黒門小学校にて実施</p> <p>【令和5年度】 文化庁学校巡回公演(17校)、富士市立中学校(15校)、文京区立第六中学校、桐蔭学園小学校、埼玉県立蕨高等学校、台東区立黒門小学校、文京区立第一中学校、足立区立第十中学校にて実施</p> <p>【令和6年度】 文化庁学校巡回公演(16校)、富士市立中学校(15校)、文京区立第八中学校、文京区立第九中学校、横浜雙葉中学高等学校にて実施 (実施予定校)文化庁学校巡回公演(20校)、山脇学園中学高等学校、富士市立小学校(8校)、創価高等学校、台東区立黒門小学校</p>		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>【平成19年度】 北海道遠軽市内音楽鑑賞教室にて普通学級と合同で実施</p> <p>【平成26年度】 大阪府立豊中支援学校にて音楽鑑賞教室を実施</p> <p>【令和4年度】 栃木県立足利中央特別支援学校(足利市立の小中学校と併せて実施)</p> <p>【令和6年度】 北海道余市養護学校しりべし学園分校、北海道手稲養護学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	ワールド・ミュージック・ツアー！ ～～吹奏楽で巡る世界の音楽～～			
企画のねらい	本企画のねらいは、子どもたちがさまざまな国や地域の音楽に触れることで、異文化への興味と理解を深めることです。音楽を通じて多様なリズムやメロディに会い、世界各国の文化的な豊かさを楽しむ機会を提供します。また、吹奏楽の魅力や迫力を体感し、音楽が持つコミュニケーションの力を感じてもらうことで、子どもたちの感性や創造力を育むことを目指します。			
演目概要・演目選択理由	別添			
児童・生徒の参加又は体験の形態	本公演では共演コーナーを設け、ラテン音楽の代表的な楽曲、ペレス・ブラード作曲「マンボ・ジャンボ」を取り上げます。この曲で、ラテン音楽の基本リズム「ツー・スリー」の手拍子により共演し、さらに曲の途中でその音楽の代表的な打楽器であるコンガを使い、数名の児童、生徒によるコンガの演奏体験を実施します。ワークショップにおいて、「ツー・スリー」のリズムの練習などを行い、楽しく学びます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	鑑賞者全員	
		鑑賞人数目安	体育館収容可能人数	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>○ジョン・ウィリアムズ:オリンピック・スピリット ○ガーシュウィン:バリのアメリカ人 ○プロコフィエフ:ピーターと狼(ナレーション付き) ○シャブリエ:スペイン ～～休憩15分～～ ○エルトン・ジョン:サークル・オブ・ライフ ○【共演コーナー】ペレス・ブラード:マンボ・ジャンボ(代表者数名がコンガで共演) ○【共演コーナー】みんなで歌おう(ビリーブ、旅立ちのうた、コスモスの3曲から1曲を選択) ○真島俊夫:3つのジャポニズムから3楽章「祭り」 ○【アンコール】以下2曲から選択 スーザ:星条旗よ永遠なれ もしくは 和泉宏隆(真島俊夫編曲):宝島</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
出演者	<p>指揮:井村誠貴、横山奏、井田勝大、森亮平 司会:山下まみ、田添菜穂子 吹奏楽:シエナ・ウインド・オーケストラ(以下メンバー表) Picc:西田紀子 Fl:窪田恵美、重見佳奈 Ob:金子佳代、小山祐生 Eb Cl:木内倫子 B♭ Cl:佐藤拓馬、飯島泉、黒岩真美、近藤薫、山手寿子、中村めぐみ、佐々木理恵 AltCl:塚本啓理 BassCl:森卓也 Fg:鹿野智子、高林美樹 Sax:柴村正吾、江川良子、貝沼拓実、大津立史 Hr:林育宏、山下裕也、佐久間優、伊東輝道 Tp:砂川隆丈、熊代祐子、佐藤友紀、上田仁、シモンズ慶敏 Tb:郡恭一郎、長谷川貴大、山口隼士 Eup:庄司恵子、齋藤充 Tuba:久保和憲、宮田保良 Per:荻原松美、村居勲、東佳樹、関聡、安東友樹子 Cb:齋藤ちひろ Hp:井上麗</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>○井村誠貴 オペラ指揮者。2013年には年間オペラ公演回数で日本人第1位になるなどオペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では大阪響、京都市響、名古屋フィル等を客演。近年はミュージカルにも活動の場を広げている。 ○横山 奏 2018年第18回東京国際音楽コンクール第2位&聴衆賞を受賞。国内のプロ・オーケストラに数多く客演。2015年-2017年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。指揮をダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健に師事。 ○井田勝大 東京学芸大学音楽科卒業、同大学院修了。東京のオペラの森で小澤征爾、ズービン・メータのアシスタントを務める。現在、Kバレエカンパニー音楽監督、シアター オーケストラトーキョー音楽監督。エリザベト音楽大学講師、桐朋学園大学特任講師。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 46 名 スタッフ: 10 名 合計: 56 名	運搬	積載量: 4 t 車長: 8.75 m 台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度		
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	8:50	9:00～11:00		13:30～15:00	10～15	15:00～16:30	17:00	
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月		7月		8月		9月	
	10日		8日		0日		18日	
	10月		11月		12月		1月	
	15日		10日		10日		9日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		80日	
公演に係るビジュアル イメージ (舞台の規模や演出が わかる写真)								
								
※採択決定後、図 面等の提出をお願い します。								
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要 否			該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある 場合		権利者名			許諾確認状況		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

ワークショップのねらい	<p>①木管楽器、金管楽器、打楽器の音色や楽器の仕組みなどを実演を交えて学ぶことで、本公演のオーケストラによる演奏をより深く理解し、演奏を楽しむことにつなげていきます。</p> <p>②本公演のテーマに基づき、曲に表れている国や地域の特徴をわかりやすく解説したうえで、その音源を再生視聴します。生演奏のイメージを広げつつ本公演への期待感を高めます。</p> <p>③打楽器奏者が本公演でオーケストラと共演するコンガとボディ・パーカッションの指導をします。実際に体験することで演奏する楽しさを伝え、共演への興味を高めていきます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	200名程度まで
ワークショップ実施形態及び内容	<p>木管楽器奏者1名、金管楽器奏者1名、打楽器奏者1名、ピアニスト1名、司会者1名、スタッフ1名の計6名</p> <p>①楽団紹介 どこから来たか、どんな活動をしているかを紹介</p> <p>②メンバー紹介 一人ずつ役割を紹介、特にスタッフが何をしているかなどわかりやすく説明</p> <p>③レクチャー(木管楽器) 楽器は未定だが、木管楽器の特徴や音の出る仕組みを解説</p> <p>④実演鑑賞(木管楽器) ピアノ伴奏による実演(子どもたちになじみのある楽曲)</p> <p>⑤レクチャー(金管楽器) 楽器は未定だが、金管楽器の特徴や音の出る仕組みを解説</p> <p>⑥実演鑑賞(金管楽器) ピアノ伴奏による実演(子どもたちになじみのある楽曲)</p> <p>⑦レクチャー(打楽器) いろいろな打楽器の紹介をクイズを交えながら紹介する。また、本公演で活躍する打楽器を紹介し、わかりやすく解説</p> <p>⑧レクチャー(本公演の楽しみ方) 本公演で取り上げる曲(2~3曲)の音源をPCから出力し、世界各地の音楽について、わかりやすく解説する。</p> <p>⑨実演(木管楽器) ピアノ伴奏による実演(楽器の特性がわかりやすい楽曲)</p> <p>⑩実演(金管楽器) ピアノ伴奏による実演(楽器の特性がわかりやすい楽曲)</p> <p>⑪ピアノ伴奏による合唱の練習</p> <p>⑫打楽器奏者による共演の指導 本公演体験コーナーで共演する「マンボ・ジャンボ」を用いてツースリーのリズムの練習やコンガの叩き方のレクチャー</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>各学校が所有するピアノを借用したい。これに伴い、可能であれば事前に調律をしていただけると、演奏のクオリティが上がり、よりよいワークショップの実施につながる。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 当団はプロ吹奏楽団として常にクオリティの高いパフォーマンスを目指すとともに、多数の吹奏楽作品や委嘱作品を紹介してきた。また、毎年実施する全国ツアーでは首席指揮者の佐渡裕とともに型破りともいえるさまざまなパフォーマンスを展開し、各地のファンに吹奏楽の魅力を伝えるとともに、特にアマチュア団体との共演やワークショップ、クリニックなど様々な活動において注力してきた。 本事業ではその経験と実績を生かし、気軽に楽しみながら演奏に参加できるような公演を目指している。本公演を見聴きし音色や表現はもちろん生の吹奏楽ならではの音圧やビートにも触れることにより、さらにさまざまな音楽に興味を持ったり、思わず楽器を演奏したくなるようなわくわくする感覚を体感してもらおうと思っている。 我が国の吹奏楽人口は500万人ともいわれ、中学・高校には必ずといってよいほど吹奏楽部が設置されている。これは吹奏楽がプロの管打楽器奏者を輩出するための裾野になっているといえる。我々はプロ吹奏楽団として、本事業への参加を機に、さらに裾野を広げ、その普及に努めることが使命の一つと捉えている。 また、児童・生徒たちが、楽器の演奏や音楽による表現をより身近に感じ、演奏に参加する喜びを体感することにより、音楽の様々な形での楽しみ方を知るきっかけになれば、未来の音楽業界を担う人材の育成に貢献できると考えている。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 事前に実施するワークショップにおいて、楽器の特性や楽曲の解説をできるだけわかりやすく、かつ直感的に理解できるように実施していく。また、指揮者体験やボディパーカッションのレクチャーにより、本公演への興味と期待をあおり、本公演当日はスムーズに鑑賞ができるよう指導する。ワークショップが全校児童・生徒が参加できない場合は、当日団員がレクチャーやアドバイスを実施し、各校の担当教員との連絡を密にし、ワークショップ・本公演の実施についてお互い不安がないようにしていく。</p>
--	--

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】
演目概要・演目選択理由	<p>【演目概要】 本公演はワールド・ミュージック・ツアーのタイトルの通り、各国の音楽を演奏することによって子供達の想像力を刺激し、あたかもその国に行ったかのような体験をしてもらい、音楽を聴く楽しさ、演奏に参加する喜びを感じてもらうことを目的としています。</p> <p>世界の音楽には各国特有のリズムやメロディが存在しています。吹奏楽はジャンルを超えた表現を得意とする演奏形態であり、加えて吹奏楽特有の体幹まで響く音圧と、当団の繊細なアンサンブル、かつキレのあるビート感によって、各国のリズムやメロディの特長をよりリアルに体感していただけることと思います。それにより、聴くだけにとどまらず心と身体で感じ、吹奏楽や音楽が子供達の将来に深く寄り添っていく存在になるきっかけになればと考えます。更に各国の文化や歴史などに関心をもってもらい、グローバルな視点で物事を考えられるようになる事も願って、今回のプログラムを制作いたしました。</p>	
	<p>【演目選択理由】 オープニングは、J・ウィリアムズの「オリンピック・スピリット」からスタートします。いかにもアメリカらしい華やかな楽曲、当団の得意としている曲調で聴き手の心を掴んでいきます。</p> <p>2曲目はアメリカ人がパリの喧騒を感じた、まるで音楽によるフランス紀行文のような「パリのアメリカ人」を演奏します。 タクシーホーンによる喧騒の様子やウィットに富んだモチーフ。ヨーロッパの音楽とアメリカのジャズが融合した楽曲でオープニングからの流れを作っていきます。</p> <p>3曲目にはロシアの作曲家プロコフィエフの「ピーターと狼」をナレーション入りで配しました。各楽器がそれぞれの登場人物の役割を担当していて、子供にも分かりやすいお話でありながら音楽的な内容も充分にあり、管楽器の特性も引き出せる選曲になっています。ナレーションを司会の山下まみが担当します。</p> <p>前半最後はエマニュエル・シャブリエの「スペイン」を演奏します。 この曲はシャブリエがスペインを旅行した時の各地の音楽にインスピレーションを受けた曲で、スペイン独特のリズムや情熱的で自由な作風で華やかに前半を締めくくります。また各国のリズムに触れることにより、後半でのリズムの共演との流れになるように選曲しました。</p> <p>休憩を挟み後半はエルトン・ジョンの「サークル・オブ・ライフ」からスタートします。ミュージカル「ライオンキング」の劇中歌でもあるこの曲で、一気に異国への旅に子供達を連れて行きます。</p> <p>ここで共演コーナーを配置しました。ビート感の強い中南米のラテン音楽、ペレス・ブラードの「マンボ・ジャンボ」に乗って「ツー・スリー」のリズムを手拍子で共演します。 また楽器体験コーナーとして子供達にコンガの体験をしてもらいます。 (感染症対策としてプラスチックの皮を使い、毎公演ごとに消毒作業を行います。)</p> <p>最後の曲として選んだのは真島俊夫の「3つのジャポニズム」です。 吹奏楽オリジナルの曲で西洋の音楽技法と和風テイストを見事に融合させた楽曲となっており、日本だけでなく海外でも高い評価を受けているこの曲から第3楽章「祭り」を演奏します。青森県のねぶたをモチーフに、大きな桶太鼓、あたり鉦、締め太鼓などの和楽器が多く使われており、子供達に日本の楽器への興味を持たせ、また吹奏楽の圧倒的迫力やプロとしてのテクニックを存分に披露する激しく華やかな楽曲を子供達に届けたいと思い選曲しました。</p>	